

平成24年度 公の施設目標管理型評価書

施設名	新潟市北地区スポーツセンター（有料）		
管理者名	新潟市開発公社&ハピスカとよさか	指定期間	平成21年4月1日 ~ 平成26年3月31日
担当課	北区地域課		
所在地	北区名目所3丁目1125番地1		
根拠法令	スポーツ振興法		
設置条例	新潟市体育施設条例		
施設概要	敷地面積 18,420平方メートル 建築構造 鉄筋コンクリート造 2階建 主な施設内容（構成施設の内容） 大体育室 1,548平方メートル トレーニングルーム 260平方メートル 多目的ルーム 270平方メートル		

施設設置目的

スポーツの普及振興を図り、市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与することを目的として、体育施設を設置する。

管理・運営に関する基本理念、方針等

- (1)新潟市体育施設条例並びに新潟市都市公園条例（以下「条例」という。）に基づき、スポーツの普及および振興を図り市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与する管理運営を行うこと。
- (2)公の施設管理運営の責務を認識して管理運営を行うとともに、住民サービスの向上や平等利用が確保すること。
- (3)利用者の意見及び要望を管理運営に反映させること。
- (4)利用者に対し、安全で快適な環境を提供すること。
- (5)新潟市個人情報保護条例に基づき、個人情報の保護を徹底するとともに、業務上知り得た情報について守秘義務を遵守すること。
- (6)効率的かつ効果的な管理運営を行い経費の削減に努めること。
- (7)法令を遵守し施設の管理運営を適切に行うこと。
- (8)指定管理者制度を理解し、実践すること。

平成24年度 目標管理型評価書

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	広報の充実	ホームページでの情報提供へのアクセス数 月間900件以上、年間10,800件以上更新	月間約6,954件、年間83,447件	A	目標達成
	基準利用者数の達成	年間82,000人	平成24年度利用者数:84,406人	A	目標達成
	基準利用時間(専用利用)の達成	大体育室、多目的ルーム、会議室 各施設 年間1,800時間以上	大体育室 3,371時間、多目的ルーム 2,948時間、会議室 573時間 ※専用利用はもとより、個人利用・スポーツ 教室での利用が有効活用されている。会 議室の利用促進を図りたい。	B	概ね達成
	基準稼働率の達成	大体育室、多目的ルーム、会議室 各施設 年間50%以上	大体育室 86%、多目的ルーム 75%、会 議室 15% ※大体育室は個人利用・専用利用の予約 が効率的にあり、稼働率が高くなった。多 目的ルームは教室の利用以外の時間の利 用者獲得に工夫をしたい。会議室は大会 以外の利用者獲得に工夫をしたい。	B	概ね達成
	各種サービス別満足度(アンケート)	5段階中3以上 有人施設: ・スポーツ教室参加者 50%以上 ・施設利用者 85%以上 無人施設:50%以上	有人施設: ・スポーツ教室参加者 98% ・施設利用者 97% 無人施設:施設利用者 98%	A	目標達成
	苦情・要望に対する対応	市長への手紙 各施設年間2通以下	0通	A	目標達成
財務	設置目的に合致したサービス提供	・スポーツ教室延べ参加者数 9,000人 ・スポーツ教室開催時間数 年間350時間	・延べ参加者数:14,341人 ・教室開催時間数:600時間	A	目標達成
	利用者1人あたりのコスト削減額	利用者1人あたりの人件費を含む維持管理費 (人件費を利用者数で除した額)が、693円 以下	424円	A	適正である。
	施設管理運営経費の削減	施設1平方メートルあたりの人件費を除くラン ニングコスト(物件費を管理敷地面積で除し た額)が、1,390円以下	1,998円 ※施設老朽化による修繕・工事が多かつ た。今後は防止・早期発見に努めコストを 抑える。	B	概ね適正である。
業務	使用料収入の達成	年間14,000千円	14,665千円	A	目標達成
	人身事故に関するもの	・補償を伴う事故0件、水難事故0件 ・心臓停止事故件数の90%以上にAEDを使用	・事故発生:0件 ・AED使用無	A	目標達成
	物損事故に関するもの	指定管理者が修繕できないものが5年間で1 件以下	0件	A	目標達成
	関係法令の遵守	個人情報の取り扱いに関するマニュアルの 整備	適切に対応している。	A	適正である。
	守秘義務の徹底	機密情報の取り扱いに関するマニュアルの 整備	適切に対応している。	A	適正である。
人材	業務基準書等に定める事項の遵守	業務基準書等に定める事項の遵守	適切に対応している。	A	適正である。
	有資格者率の増加	施設の管理運営に必要な資格だけでなく、 指導やスポーツの知識を深める資格取得に 努める。	適切に対応している。	A	適正である。
	研修の実施件数	年4回以上	44回 ※防犯講習やPC講習、遊水館での救助訓 練や水泳指導研修の他、危機管理やサー ビス向上のための研修を行うことが出来 た。	A	目標達成
	実務研修受講者数	年間1人1回以上	7回	A	目標達成

総合評価(所見)

指定管理業務基準書に基づき適正に管理されている。
今年度は教室開催数を14教室から20教室へ増やしたことで参加者数・開催時間数ともに前年を上回ったため、概ね目標を達成している。今後は、会議室利用者獲得のための工夫が必要である。
特に事故や苦情もなく、指定管理者として優良と評価できる。